

## 平成31年度分の利用者募集中!

## JA農業経営管理支援事業

## 会計記帳代行 &amp; 申告事務支援

JAいわてグループでは、農業者の皆さんの所得向上と生産拡大を応援するため、簿記記帳・決算書作成の代行を行っています。

## 記帳代行の内容

- ①青色申告対応の各種帳簿の作成・電子保存  
※消費税にかかる税率別・課税取引区分管理を含む
- ②決算書類の作成  
※税務申告書の作成は、別途、税理士に依頼することになります。



- メリット**
- ①事務・コスト負担の軽減化により、農業経営に集中できます!
  - ②適正な帳簿管理のほか、各種税法・税制改正に対応した税務申告ができます!
  - ③青色申告特別控除(65万円)の適用により、所得税・住民税・国民健康保険税の節約ができます!
  - ④経理処理や税金の悩みなど、JAスタッフや税理士にいつでも気軽に相談できます!

## 会計記帳代行を利用する場合の要件(農家が行うこと)

- 利用料金のご負担 基本料金35,000円～(年間・税抜)  
※経営規模に応じて増額
- 前年度の確定申告書など必要書類の提出
- 現金出納帳(JA取引引き以外)等の提出(原則毎月)
- 定期個別面談等への出席(年3～4回)

## 農業経営・農家経済を取り巻く環境

今後予定されている制度改正

- 2019年1月～** 全ての農産物を対象とした収入保険制度の実施  
※保険加入には青色申告が要件となります。
- 2019年10月～** 消費税率の引き上げに伴う軽減税率制度の実施  
※消費税率が10%と8%の複数になり、税率判定事務をはじめ勘定科目及び、取引毎の税率記帳など農業者における事務・コスト負担が増大します。
- 2023年10月～** 適格請求書等保存方式(インボイス制度)の導入  
※中・小規模の農業者も課税事業者の選択を迫られる可能性が高くなります。

こうした状況から、会計記帳代行&申告事務支援の取り組みは、担い手農家を支える重要な経営支援ツールとして期待されています!

お問い合わせ JA営農振興課 ☎ 34-4001 FAX 34-4004

## 土づくりが決める品質と収量

農業生産にとって土は大事な要素の一つです。土の良し悪しが農作物の品質や収量に大きく影響します。まずは圃場の土の状態を把握し、良い土づくりを行いましょう。

## 1. 土づくりの必要性

豊かな収穫を得るには良い土づくりが必要です。良い土とは作物ごとに異なりますが、一般的には、①十分に根が張れる ②通気・排水性がよい ③水持ちがよく、肥料をよく保つ ④適正なpH値 ⑤微生物が多い ⑥腐植に富む ⑦異物の混入が少ないなどといわれています。

## 2. 土づくりの方法

(1) 土壌分析を行い、土壌の養分状態を把握。作物別栽培層などを参考に不足している成分の肥料を施用し補います。

(2) 土壌分析結果に基づき作物に合わせたpH調整をします。酸性土壌は石灰資材で、アルカリ性土壌は、硫黄華やピートモス、鹿沼土の細粒を施すと中和できます。

(3) 水はけ・通気性が良い土壌は、有機物の施用によって作られます。主な有機物資材は、ナタネ粕や大豆粕、堆肥ですが、特に堆肥は毎年施用しましょう。

## 3. 土壌病害虫の防除

土壌中の病原菌や線虫など害虫による被害は特に、連作圃場で発生しやすいので、土壌消毒で病原菌や害虫の密度を下げる必要があります。主な方法は①土壌還元消毒法②蒸気熱水消毒③土壌消毒剤の使用があります。

土壌診断、土壌改良資材につきましては、JA各営農経済センターにお問い合わせください。